

日本橋モラロジー事務所 概論研究会（8）

伝統報恩

はじめに・ ・ ・ 結構難しい??

- ・ 最高道徳として
 - ・ 品性の完成の王道はこれだ！
 - ・ 「伝統」という恩人の系列を認めること
 - ・ そしてその「伝統」への報恩を行うこと
 - ・ 報恩とは
 - ・ 先人からの無償の恵みを感謝の心で受け継ぎ、育て、次世代へ譲り渡すこと
 - ・ 具体的には
 - ・ 伝統の存在をよく知ること
 - ・ 三段階にわたる活動を実行する
 - ・ 精神的・物質的要素を感謝して受け取り
 - ・ それを成長させて
 - ・ 実りを現世代と子孫世代に譲る
- ・ 結果として・ ・ ・ 個人の幸福と人類の持続的な発展を可能とする王道である。
 - ・ ??? ???

伝統報恩

- 伝統、恩及び報恩
- 実生活と伝統報恩
- 精神伝統に対する報恩
- 伝統報恩の効果

伝統、恩及び報恩

- 伝統とその種類
- 世代をつなぐ恩と報恩の道德
- 報恩の3つの段階

伝統、恩及び報恩（1）

・ 伝統とその種類

・ 神仏（宇宙・自然）

- ・ 家（家族共同体）の伝統
- ・ 国（国家共同体）の伝統
- ・ 精神伝統
- ・ 準伝統

親祖先の系列

国家・国民道徳の系列

精神生活（宗教や道徳）の恩人の系列

生活上で直間接に恩恵を受ける恩人

伝統、恩及び報恩（2）

- 世代をつなぐ恩と報恩の道徳
 - 先人から受け継ぐ、生存発達を支える
知識、文化、制度、慣習、利害関係共同体
等を受け継いで、発展・拡張させ、次世代へ受け渡しする
――→世代間に永遠に受け渡しする倫理
- 世代間の倫理継承の危機
 - 若い世代と高齢世代の数の不均衡化
 - 核家族や少子化による倫理の継承に齟齬
 - 科学技術（特にIT化）による、価値観の変化（AIは脅威か！）

伝統、恩及び報恩（3）

・ 報恩の3つの段階

- ・ 人類の幸福の根源は、天地自然の恵みである。
その恵みを生かし善用することが「報恩」である。
- ・ 「善を受け継ぎ」「善を育て」「善を譲る」の三段階の観念が重要
 - ・ 具体的には
 - ・ 1. 故人、祖先への報恩
 - ・ 2. 現存する恩人への報恩
 - ・ 3. 将来世代の育成に献身
これで「報恩」の完成！

実生活と伝統報恩

- 家の伝統に対する報恩
- 国家伝統の対する報恩
- 準伝統に対する報恩

実生活と伝統報恩（1）

- 家の伝統に対する報恩

- 1. 祖先の霊に、その大恩に感謝し、霊を祀る
- 2. 現存すれば・・・親に対する報恩
- 3. 連れ合いの祖先&親に対する報恩
- 4. 子供や孫を育て上げる
- 5. 「自身の子供や孫」のみならず他の子供や孫にも・・・

実生活と伝統報恩（2）

・ 国家伝統の対する報恩

- ・ 国家の形態は数多くあれど、形態に関わらず、現実に属す国家に対して
国家伝統が代々受け継がれたことに対して、報恩する

・ 国の形と伝統の種類

- | | |
|------------|----------------|
| ・ 1. 君主制 | 君主のみ |
| ・ 2. 立憲君主制 | 君主及び大統領もしくは首相 |
| ・ 3. 共和制 | 大統領もしくは首相 |
| ・ 4. 社会主義国 | 国家主席もしくは国家組織の長 |
| ・ 5. 現代日本 | 国家の象徴である代々の天皇 |

- ・ 安定した国家こそが、安心して倫理道徳社会を継承できる
日本は「素晴らしい！！！」

実生活と伝統報恩（3）

- 準伝統に対する報恩
 - 家や国家に関わらないその他の伝統が存在する
 - それは、人間の共同体
 - 村や地域社会
 - 学校等の生徒・学生
 - 職場等
 - 趣味、ボランティア、〇〇クラブ、などなど
 - それぞれ関わる組織の伝統を知り、それに対しての報恩を行うことも重要
 - そして、次世代に確実に受け渡すことも重要

精神伝統に対する報恩

- 精神伝統と人類文化
- 日本の文化と精神伝統
- 精神伝統への報恩

精神伝統に対する報恩（1）

・精神伝統と人類文化

・世界の諸聖人は精神伝統の中心的な存在

- ・ ソクラテス（ギリシャ）
- ・ イエス（ユダヤ）
- ・ 釈迦（インド）
- ・ 孔子（中国）
- ・ ムハンマド（イスラム）

・ 世界の紛争地帯が出身地であるとおもいます。違いますか？

・ 「提灯を借りた恩は忘れねど、お天道さんの恩は忘れる！」

- ・ 日常の小さな恩は知っていて忘れないけど、偉大な恩ほど気付かない
人類は諸聖人の高い品性と道徳によって、精神の教育を受けてきた
安心と世転びを高め、生きる力を与える偉大な力である

精神伝統に対する報恩（2）

・日本の文化と精神伝統

・日本人の道德の核心は「大和心」

- ・ 天皇家・皇室・朝廷を中心として道德精神が核
- ・ プラス、仏教や儒教の精神も加わる

・日本における精神伝統の系譜

- ・ 1. 仏教 仏法曹への帰依、信仰
- ・ 2. 儒教 天の信仰、祖霊への崇拜、生活規律
- ・ 3. 古来の神道 皇室の祖先神、氏神様（土地の神々）
- ・ 4. 道教 さまざまな神
- ・ 5. 世界の諸宗派
- ・ 6. 科学、哲学及び文化

精神伝統に対する報恩（3）

・精神伝統への報恩

・神仏への礼拝（心の中で実行）

- ・ 自己の生存に対して自然・神仏へ感謝
- ・ 自己の変革を誓う
- ・ 国&家の伝統の幸福を願い
- ・ 世界平和を願い
- ・ 恩人の安泰を祈り
- ・ 品性の向上を誓う

- ・ 宗教的な貴族には一線をもち、あくまでも道徳の系統につくせばよい！
- ・ 道徳的な系統は宗派にこだわらず万人に開かれた共通のものである

伝統報恩の効果

- 各人の生命力、先進力、想像力が伸長する
- 人生を意味づける正しい方向を示してくれ、よりよい決断ができる
- 人の想像力とイノベーションを促進する

- 結果的に . . .
 - 古来の良きものを保全しつつ、柔軟に新しい未来を創造し
人類の生命活動を永続的に発展させる